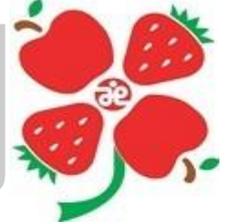




四つ葉のクローバー新聞



～心をひとつに～ 2015年10月号(第43号)

「四つ葉のクローバー新聞～心をひとつに!～」をお届けします。

この新聞では、山元町や地域包括支援センターをはじめ、山元町社会福祉協議会「やまもと復興応援センター」の復興応援活動、そのほか様々な情報をお伝えしています。

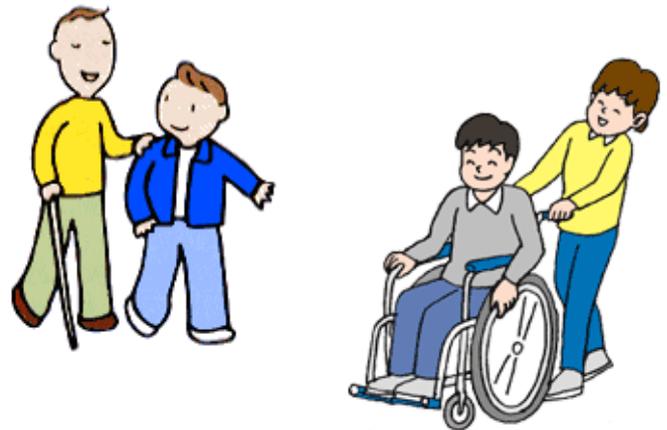
心をひとつに!『やまもと復興応援センター』

10月11日(日)

やまもと地域交流福祉まつりを開催します!!

このイベントでは、福祉に関する催し物が行われます。ステージ発表や、やまもと語りべの会の方の講演、ニュースポーツ体験、屋台の食べ物など楽しい&勉強になる催しいっぱいです!

この機会に体育文化センターまでぜひ足をお運びください!!



福祉体験が行われました

9月18日金曜日、山下小学校で福祉体験がありました。参加者は、車椅子の体験をしたり目隠しをして白杖を持っておっかなびっくり階段を上り下りするなどの実践を通じて、福祉への理解を深めました。

防災コラム 竜巻が来たら?

最近では地球温暖化で気候が極端になり、気候的に何が起こっても不思議ではないような感じさえあります。例えば、竜巻。数十年前には竜巻はアメリカでおこるものだという認識でしたが、山元町でも今年竜巻警報が数回出されています。では、竜巻が起きたらどのように対応したら良いのでしょうか。

- 兆候(雷や筒状の巻き上げる風)を見極め、頑丈な建物に避難する。
 - 窓の少ない部屋に避難する。窓がある場合は飛来物を避ける為カーテンを閉める。
 - 屋外の場合、飛散物の直撃が少ないような場所に避難し、竜巻の通過を待つ。
- 竜巻で怖いのは、強烈な風もそうですが飛散物が危険です。木や電柱の近くは危険なので近づかないようにしましょう。



不法投棄は犯罪です

仮設住宅を退去する際に収集できないゴミをゴミ集積所へ投棄する方がいました。不法投棄した場合、5年以下の懲役又は、100万円以下の罰金を科せられるなど厳しい罰則が設けられています。

きちんとルールを守って、ゴミを捨てましょう。

▶ 巨理清掃センターへ直接搬入するもの

粗大ゴミ、古タイヤ、テレビ、エアコン、洗濯機、冷蔵庫

▶ ご自身でメーカーに回収を依頼するもの

パソコン

▶ 収集及び処理できないもの

建築資材、コンクリート、ブロック、バッテリー、プロパンボンベ、廃油、農薬、農機具、ビニールハウス建材など

プレハブ仮設住宅の点検、補修について

プレハブ仮設住宅の完成から4年が経ちました。応急仮設住宅は、名前のとおり応急的な仮設の住宅となっております。

応急仮設住宅の入居期間が5年間から6年間へ延長(特定された方のみ)されたことから、プレハブ仮設住宅の点検、補修を行います。なお、作業に伴い作業員が住戸内に入室することはありません。詳細については、決まり次第お知らせいたします。

お問い合わせ 被災者支援室 Tel 29-8003

